



亀中だより

No.15 令和4年7月26日 文責:岡田

For The Students!

「マイタウンかめやま」に中学生アナウンサー登場!

亀山市行政情報番組「マイタウンかめやま」では、毎年夏休み特別企画として「中学生アナウンサー」が登場し、地域の身近な話題やイベント、市からのお知らせなどの紹介をしています。今年は亀山中学校からも3人の中学生アナウンサーが出演することとなりました。今回、アナウンサーとなるのは、3年生の櫻井俐空さん、豊田隼さん、草川大貴さんの3名です。放送は7月29日(金)~8月4日(木)、午前6時から深夜0時まで30分番組が繰り返し放送されます。ぜひご覧ください!



限界突破へ! ロジャー・バニスターに学ぶ



世界陸上では、たくさんの感動的な場面を見せてもらいましたね。さて、このお話は陸上競技の世界では有名な話だそうです。1954年5月6日、ロジャー・バニスターは、何百年の間不可能と言われていたことを可能にしました。当時陸上競技において1マイル(1600m)を4分を切って走ることは不可能、エヴェレスト登頂や南極点到達よりも難しいといわれていたそうですが、彼はトレーニングに科学的手法を持ち込み、自分のコンディションを科学的に分析しました。そして、2人のチームメイトをペースメーカーにして4分の壁を破ったのです。ただ、ここまででは一人のランナーの新記録ストーリーですが、この話には続きが

ロジャー・バニスターが1マイル4分を切ってから、1年のうちに20人も選手が4分を切り、かつて不可能だとされていた壁を破りました。37年間破られずにいた記録を一人の選手が超えたことをきっかけに立て続けに更新する選手が現れたのです。

日本でも同じようなことがありました。日本人では誰も達成できなかった100m 10秒の壁。しかし、2017年9月9日に桐生祥秀選手がついに9秒98という記録を達成しました。すると、現在までに4人の選手が9秒台を達成するようになりました。かつて伊藤浩司選手が10秒00のタイムを出してから桐生選手が9秒台を出すまで、実に19年の歳月が流れていました。

夏休みに入った生徒のみなさんは、どのような毎日を過ごしていますか。この話はその後「ロジャー・バニスター効果」と呼ばれて、語り継がれています。みなさんも「前例という壁が壊されること」「あいつができるなら自分にもできる!」と思えることが、自分の可能性を広げることにもなるでしょう。進路実現という新しい課題を目の当たりにしている3年生をはじめ、部活動の中心となりつつある1,2年生もまわりの仲間と競い合いながら、“自分の可能性に挑戦する夏”としてみてはいかがでしょうか。